

# 総務委員会資料

## 議案第179号

川崎市産業振興会館の指定管理者の指定について

参考資料 川崎市産業振興会館の指定管理者の選定について

別 紙 川崎市産業振興会館の指定管理予定者の選定結果について

経済労働局

平成30年11月22日

議案第 179号参考資料

川崎市産業振興会館の指定管理者の選定について

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	川崎市産業振興会館
(2) 所在地	川崎市幸区堀川町66番地20
(3) 設置条例	川崎市産業振興会館条例
(4) 設置目的	経済の国際化、高度情報化、技術革新等による産業構造の変化に対応するため、企業間における情報交流、企業の技術開発、販路開拓事業の推進等を図り、もって本市産業の発展と地域経済の活性化に寄与するため
(5) 施設の事業内容	企業間の情報交流の促進並びに産業情報の収集及び提供に関する事業、情報の高度化に対応する企業の技術振興及び人材育成に関する事業、市内企業の製品の展示及び販路開拓の相談に関する事業、産業経済の調査研究に関する事業、施設管理等
(6) 現在の管理者	公益財団法人川崎市産業振興財団・京急サービス株式会社共同事業体
(7) 現在の管理運営費	801,477千円(5年間)

2 指定管理者となる団体の概要

名 称	公益財団法人川崎市産業振興財団・京急サービス株式会社共同事業体
代表団体	公益財団法人川崎市産業振興財団
構成団体	京急サービス株式会社

(1) 公益財団法人川崎市産業振興財団の概要

名 称	公益財団法人川崎市産業振興財団
所 在 地	川崎市幸区堀川町66番地20
代表者名	理事長 三浦 淳
設立年月	平成23年8月1日(旧財団設立年月日 昭和63年4月2日)
基本財産 又は資本の額	1億円
職 員 数 又は従業員数	104名
設 立 目 的	高度情報化に対応するとともに、企業間の情報交流の促進、技術開発及び産業経済に関する調査研究、人材育成等を行うことにより、川崎市内外及び周辺地域における産業の高度化と、地域産業の振興を図り、もって地域の産業経済の発展に寄与することを目的とする。 先端的な医療分野、薬学分野等における研究開発の推進、技術移転、人材の育成等を産学公のもとに行うことにより、医療、福祉の向上及び産業経済の発展、さらに学術の進歩に寄与することを目的とする。
事業概要 (30年度)	(1) 川崎市産業振興会館指定管理者 (2) かわさき新産業創造センター指定管理者 (3) ナノ医療イノベーションセンター運営事業の実施 (4) 中小企業経営支援事業、新事業創出支援事業、産学連携推進事業、海外展開支援事業等の実施

決算(単位:千円) (直近3年度)	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	総収入	1,541,912	1,732,149	1,757,037
	総支出	1,510,977	1,720,307	1,858,329
	当期損益	30,935	11,842	△101,292
	累積損益	3,545,800	3,252,099	2,754,528

## (2) 京急サービス株式会社の概要

名 称	京急サービス株式会社			
所 在 地	横浜市港南区上大岡西1丁目6番1号			
代 表 者 名	代表取締役社長 榎野 敏弘			
設 立 年 月	昭和46年2月15日			
基本財産 又は資本の額	2億円			
職 員 数 又は従業員数	1,250名			
設 立 目 的	次の事業を営むことを目的とする。 (1) 建物の設備保守管理業務 (2) 警備業務 (3) 環境整備業務 (4) 家事代行業務 (5) 生花業務 (6) 造園工事業務 (7) 植栽管理業務 (8) 駐車場管理業務 (9) 認可保育園運営業務 (10) その他サービス業務等			
事 業 概 要 (30年度)	(1) 川崎市産業振興会館指定管理者 (2) 川崎市港湾振興会館 設備・警備業務の受託 (3) 港南区民文化センター指定管理者 (4) アゼリア地下街 清掃・昇降機保守点検業務の受託			
決算(単位:千円) (直近3年度)	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	総収入	11,875,755	12,275,006	13,006,373
	総支出	11,251,521	11,636,710	12,206,636
	当期損益	624,234	638,296	799,737
	累積損益	3,536,752	3,936,254	4,440,972

### 3 指定期間

平成31年 4月 1日から平成36年 3月31日まで

### 4 選定結果

別紙のとおり

## 5 事業計画

項 目	事業内容
事業の実施	<p><b>1 情報発信業務等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間延べ500社以上の企業訪問や、大田区及び横浜市、相模原市等の支援機関とも連携することで、市内及び近隣の企業動向を現場レベルで把握しています。</li> <li>・ 各フロアを活用し、最新の産業情報及び経営・技術に関する雑誌、関係機関等の機関紙、調査資料を提供します。</li> <li>・ 本施設の貸室の概要や写真、広報も含めて指定管理業務を紹介するホームページの運営やSNSを活用した情報提供を行います。</li> </ul> <p><b>2 人材育成業務等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5つの研究会について、1年間を通じて20回以上開催します。</li> <li>・ I o T、ビッグデータ等の先進事例や有識者によるセミナーや、アイデアソン、ハッカソンを開催するなど異業種間の連携・交流を促進します。</li> <li>・ デジタルスキルアップ研修、I o Tセミナー・異業種交流事業、I S O内部監査員養成講座、国際標準化セミナーを行います。</li> <li>・ バトルロボット部門、J r . ロボット部門、テクノクエスト部門からなるかわさきロボット競技大会を開催します。</li> </ul> <p><b>3 販路開拓業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベース登録企業からの経営・技術相談、市や財団の公的施策活用等ニーズの掘り起こしなど、相互連携を図り、具体的な支援を推進していきます。</li> <li>・ サポートセンターが神奈川産業振興センター等と共催により実施する受発注商談会や、新たに市内産業団体との共催による展示会の開催や誘致を行い、データベース登録企業の支援機会の創出と併せて行います。</li> </ul> <p><b>4 調査研究業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業訪問活動、海外ビジネス支援センターやサポートセンターでの相談業務、起業家オーディションや新産業創造センターの創業に関する情報等、企業の課題・実態を把握しています。</li> <li>・ 企業訪問や大学訪問活動を通じて知り得た、産産連携や産学連携等によって生み出された新技術・新製品・新事業の事例を取材調査し、ガイドブックを作成します。</li> </ul> <p><b>5 飲食・展示業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホールや企画展示場における交流会や懇親会などには、飲食物の提供を行うケータリングサービスを提供します。</li> <li>・ 会議室、ホール、待合室など利用者の方へのサービスとしてコーヒーや軽食のデリバリーサービスを行います。</li> <li>・ 市や財団の支援、施策活用を通じて生まれた製品・技術のほか、</li> </ul>

	<p>「かわさき名産品に認定された製品」や「市にゆかりのある製品」を候補として、PRを行います。</p> <p><b>6 有効活用業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイデアソン・ハッカソンや、セミナー等の異業種間の連携や交流を促す催しを企画します。</li> <li>・ 「かわさきIoT共創ラボ」と連携を図り、企業や人材育成など、産業振興につながる取組を積極的に行っていきます。</li> </ul>
施設維持管理業務	<p><b>1 施設等の維持管理に関する業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用率と収入バランスを考慮した利用料金設定を行います。</li> <li>・ 安全確認のため、館内各所のパトロールを定期的を実施します。</li> <li>・ 各種設備機器の故障によるリスクを再分析し、要望修繕を効率的に提案することで、施設の長寿命化に取り組んでまいります。</li> </ul> <p><b>2 災害時等における帰宅困難者一時滞在施設に関する業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模災害が発生した際、可能な限り帰宅困難者を受け入れ、地域の混乱防止に協力・貢献するものとします。</li> </ul>
事業の安定性・継続性の確保への取組	<p><b>1 管理運営組織・人員配置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財団が産業振興事業を、京急サービス株式会社が施設管理を担当し、それぞれの強みを活かし、サービスの提供を行うとともに、施設の機能を有効に活用し、市内中小企業の振興を図ることを目的に各種事業を実施します。</li> <li>・ 施設管理業務に急きょ欠員が発生した場合、京急サービス川崎支店及びアゼリア地下街（京急サービス株式会社管理物件）に応援要請し、スタッフ等を配置し、併せて、求人募集や採用後の初期教育などを行います。</li> </ul> <p><b>2 業務改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートやヒアリングへの対応によるほか、職員が改善会議の活動を通じて、サービス向上、美化、安全等の分野で業務・設備の改善を行います。</li> <li>・ ある一定の期間を定め、利用者の属性、施設・設備・サービス等に関する、満足度、総合評価等、満足度を構成するそれぞれの要素を抽出して施設の総合的な評価を行います。調査結果を基に運営会議を招集し、問題解決に向けた業務改善策を立案し、速やかに改善に向けた取組を行います。</li> </ul> <p><b>3 コンプライアンス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 反社会的勢力による被害や不当要求に備えて、地元警察、弁護士、全国暴力追放運動推進センター等の外部の専門機関と緊密に連携し、組織的かつ適正に対応します。</li> </ul>
その他	<p><b>1 事業の収益性向上及び管理経費縮減の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同事業体のメリットを活かし、様々な取組により産業振興会館の魅力アップすることで、企業・市民活動の中心地として、利用促</li> </ul>

	<p>進（利用率向上）を図ります。</p> <p><b>2 その他提案事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業が開発したかわさきものづくりブランド等、会館内の設備保守や消耗備品等で使用可能な製品については、積極的な導入の促進を図ります。</li> <li>京急グループのネットワークを活かしたサービスの提案として、ビジネスホテルと連携した宿泊客向けサービスや交通事業と連携した広報宣伝、広告代理店業と連携したイベントの企画を行います。</li> </ul>
--	--

## 6 収支計画

(単位：千円)

項 目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					合 計
	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	
収 入	224,058	214,920	212,742	212,913	212,913	1,077,546
指定管理料	170,982	154,566	152,333	152,449	152,395	782,725
利用料金	33,081	40,359	40,414	40,469	40,523	194,846
事業収入	17,208	17,208	17,208	17,208	17,208	86,040
その他の収入	2,787	2,787	2,787	2,787	2,787	13,935
支 出	224,058	214,920	212,742	212,913	212,913	1,077,546

## 別紙

### 川崎市産業振興会館の指定管理予定者の選定結果について

#### 1 応募状況

説明会参加：2団体

応募団体：1団体（公益財団法人川崎市産業振興財団・京急サービス株式会社共同事業体）

#### 2 指定管理者選定評価委員会委員

【財務専門家】 野村 隆 （公認会計士 野村隆会計事務所）

【学識者（施設管理）】 本杉 省三 （日本大学 理工学部 特任教授）

【学識者（企業経営）】 池本 正純 （専修大学 経営学部 名誉教授）

【学識者（中小企業支援）】 杉浦 章介 （慶応義塾大学 名誉教授）

【実務者（中小企業支援）】 小池 登志男 （中小企業診断士）

#### 3 選定理由

公益財団法人川崎市産業振興財団・京急サービス株式会社共同事業体からの提案について審査を行い、最低得点ラインである6割を超える得点となったため、「川崎市産業振興会館の指定管理者として適当である」旨の審査結果となった。

#### 4 審査結果（※基準点300点以上）

選定基準	配点	指定管理 予定者
①全体運営方針について	50点	38.0点
②産業振興に関する業務の実施について	150点	114.8点
③施設維持管理業務について	150点	113.0点
④事業の安定性・継続性の確保への取組	75点	54.8点
⑤その他	75点	56.0点
実績評価点（標準を0点として、加減点）		31.25点
合計	500点	407.85点

#### 5 提案額

782,725千円